

# 業務状況説明書(水道事業)

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

## 1. 令和5年度上半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア. 業務

区分	令和4年度 上半期	令和5年度 上半期	比較	
			増減	前年度比
給水戸数(戸)	10,720	10,637	△83	99.2%
有収水量(m <sup>3</sup> )	1,302,805	1,284,193	△18,612	98.6%

#### イ. 建設改良事業

○5,000千円以上の発注済工事

(単位:円・税込)

工事名	工事費	備考
千歳町千歳浄水場膜ろ過装置更新工事	11,550,000	
三重町肝煎加圧場他電気設備更新工事	57,471,480	

### (2) 経理の状況

#### ア. 収益的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	水道事業収益	575,610,000	294,163,192	51.1%	
	営業収益	451,788,000	223,234,372	49.4%	
	営業外収益	123,820,000	70,928,820	57.3%	
	特別利益	2,000	0	0.0%	
支出	水道事業費用	604,419,000	147,844,971	24.5%	
	営業費用	557,474,000	127,295,510	22.8%	
	営業外費用	41,844,000	20,497,001	49.0%	
	特別損失	101,000	52,460	51.9%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

#### イ. 資本的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	資本的収入	165,268,000	48,950,585	29.6%	
	企業債	108,300,000	0	0.0%	
	出資金	48,749,000	48,748,985	100.0%	
	工事負担金	8,218,000	201,600	2.5%	
	固定資産売却代金	1,000	0	0.0%	
支出	資本的支出	353,868,000	110,971,716	31.4%	
	建設改良費	140,783,000	7,404,839	5.3%	
	企業債償還金	208,085,000	103,566,877	49.8%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

#### ウ. 地方債の状況

(単位:円)

前年度残高	上半期中		年度末残高	備考
	借入額	償還金		
2,950,304,780	0	103,566,877	2,846,737,903	

## 2. 令和4年度決算の概要

### (1) 事業の状況

#### ア. 業務

区分	令和3年度	令和4年度	比較	
			増減	前年度比
計画給水人口(人)	25,325	25,325	0	100.0%
年度末給水人口(人)	22,859	22,458	△401	98.2%
普及率(%)	90.3	88.7	△1.6	98.2%
年度末給水戸数(戸)	10,683	10,663	△20	99.8%
年間有収水量(m <sup>3</sup> )	2,603,823	2,558,405	△45,418	98.3%
年間総配水量(m <sup>3</sup> )	3,598,077	3,543,264	△54,813	98.5%
有収率(%)	72.4	72.2	△0.2	99.7%
日最大配水量(m <sup>3</sup> )	10,342	11,113	771	107.5%
日平均配水量(m <sup>3</sup> )	9,858	9,708	△150	98.5%
1人1日平均配水量(ℓ)	431	432	1	100.2%
1人1日平均有収水量(ℓ)	312	312	0	100.0%

#### イ. 建設改良事業

建設改良工事では、98,564,092円の事業費をもって、施設関係では、犬飼長谷地区電気設備老朽施設更新工事、千歳浄水場老朽施設更新工事を実施しました。配水管路については、大野地区配水管更新工事、三重町深田地区配水管布設工事等を実施しました。また、県道改良工事に伴う配水管移設工事を実施しました。

○5,000千円以上の工事

(単位：円・税込)

工事名	工事費	備考
犬飼長谷地区電気設備老朽施設更新工事	62,700,000	
千歳浄水場老朽施設更新工事	8,030,000	

### (2) 経理の状況

#### ア. 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、予算額545,796,000円に対し、決算額541,476,569円(うち消費税及び地方消費税額41,077,595円)で、4,319,431円の減となっています。また、前年度に比べ税抜金額で8,706,816円(△1.7%)の減となっています。内訳として、営業収益で3,198,272円(△0.8%)の減、営業外収益で5,521,174円(△5.8%)の減、特別利益で12,630円皆増となっています。

一方、収益的支出は、予算額598,154,000円に対し、決算額573,811,817円(うち消費税及び地方消費税額27,546,573円)で24,342,183円の残額となっています。また、前年度に比べ税抜金額で15,301の微増となっています。内訳として、営業費用で原水及び浄水費15,384,873円(8.8%)の増、配水及び給水費487,866円(△0.6%)の減、総係費766,422円(△2.2%)の減、減価償却費8,685,964円(△4.6%)の減、資産減耗費5,174,501円(△64.6%)の減、営業外費用で企業債利息3,522,957円(△7.5%)の減、特別損失3,275,528円(518.9%)の増となりました。

結果、収益的収支で45,866,270円(前年比23.5%増)の当期純損失となりました。

(単位：円・税抜)

科目		令和3年度	令和4年度	増減	前年度比	備考
収入	水道事業収益	509,105,790	500,398,974	△8,706,816	98.3%	
	営業収益	414,716,313	411,518,041	△3,198,272	99.2%	
	営業外収益	94,389,477	88,868,303	△5,521,174	94.2%	
	特別利益	0	12,630	12,630	皆増	
支出	水道事業費用	546,249,943	546,265,244	15,301	100.0%	
	営業費用	494,805,676	495,075,796	270,120	100.1%	
	営業外費用	50,812,997	47,282,650	△3,530,347	93.1%	
	特別損失	631,270	3,906,798	3,275,528	618.9%	
	予備費	0	0	0	—	

### イ. 資本的収入及び支出

次に、資本的収入は、予算額14,464,000円に対し、決算額139,572,877円で、5,891,123円の減となっています。また、前年度に比べて26,950,735円（23.9%）の増となっています。内訳として、企業債で26,700,000円（55.2%）の増、出資金で958,845円（1.7%）の増、工事負担金で708,110円（△8.8%）の減となっています。

一方、資本的支出は、予算額345,528,000円に対し、決算額333,514,221円（うち消費税及び地方消費税額8,909,884円）で、12,013,779円の残額となっています。また前年度に比べて税抜金額で41,750円（0.1%）の増となっています。内訳として、建設改良費1,351,680円（△1.3%）の減、企業債償還金1,768,930円（0.8%）の増となりました。

(単位：円・税込)

科目		令和3年度	令和4年度	増減	前年度比	備考
収入	資本的収入	112,622,142	139,572,877	26,950,735	123.9%	
	企業債	48,400,000	75,100,000	26,700,000	155.2%	
	出資金	56,133,162	57,092,007	958,845	101.7%	
	工事負担金	8,088,980	7,380,870	△ 708,110	91.2%	
	固定資産売却代金	0	0	0	—	
支出	資本的支出	333,213,608	333,514,221	300,613	100.1%	
	建設改良費	109,286,363	107,818,046	△ 1,468,317	98.7%	
	企業債償還金	223,927,245	225,696,175	1,768,930	100.8%	
	予備費	0	0	0	—	

資本的収支差引不足額193,941,344円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,909,884円、当年度分損益勘定留保資金112,730,150円、建設改良積立金72,301,310円で補てんしました。

### ウ. 地方債の状況

(単位：円)

前年度残高	決算年度中		前年度残高	備考
	借入額	償還金		
3,100,900,955	75,100,000	225,696,175	2,950,304,780	